

## 別紙様式 1

## 令和6年度使用小学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 三原市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」として設定しており、何を学び、どのような力を身に付けるのかが明確に示されている。また、身に付けた「言葉の力」を他教科や日常生活に生かす視点を示しており、系統性をもたせている。</li> <li>単元のはじめに、児童の意欲を喚起するような扉が2ページにわたってあり、挿絵も大きい。</li> <li>教材への興味・関心を高めるために、説明文には問い、物語文には読みたくなるようなあらすじを載せている。</li> </ul>
書 写	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写の学びの全体像と単元のつながりがひと目でわかる構成になっている。</li> <li>書写の歴史や文字文化に関する資料や内容が多くあり、古文や漢詩などの伝統的な言語文化にも触れることができる。</li> <li>学習や日常生活に活かす単元と教材が多く配置されており、書写で学んだことを生活や他教科の学習に広げられるよう工夫されている。</li> <li>穂先の通り道など、QRコードを活用して大きく示すことができる。</li> </ul>
社 会	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の仕方が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のキーワードで示されており、児童の問いが構造的に構成されるように工夫されている。</li> <li>「いかす」のページにおいて、児童が学んだことを主体的に活用できる工夫が見開きにわたって記述されている。</li> <li>学習のまとめとして、各学年に応じた多様な表現活動が充実している。</li> </ul>
地 図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図の配色と文字のフォントのバランスがよく、全体的に地図が見やすく構成されている。</li> <li>QRコードを使ってデジタルコンテンツを利用することができ、日本全図や各県ごとの資料が充実している。</li> <li>瀬戸内海周辺図が記載されているため、広島県の詳細な地名が表記されている。また、三原市周辺の標高差、土地利用や産業の様子も詳細に調べることができる。</li> </ul>
算 数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な生活場面を通して既習事項を復習し、単元を貫く問いを立ててから学習が始まる構成になっている。</li> <li>問題把握の後、既習事項を生かすことができるかを確認する部分があり、めあてにつながる構成になっている。</li> </ul>

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で Scratch とオリジナルコンテンツの2種類のプログラミング単元が系統的に設定されている。</li> <li>・キャラクターのえんぴつくんの吹き出しが、考えのヒントや問いかけとなっており、発問の参考にできる。</li> <li>・2年生以上の上巻の「算数で使うことば」では「はじめに」「次に」「だから」などの言葉を紹介し、言語活動において 数学的に論理的な表現をする力が育成できるようにしている。</li> </ul>
理 科	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科での学びを SDGs につなげるページを全学年で巻末に設定しており、環境保全を視点とする発展学習も紹介している。</li> <li>・各単元の導入に、動画や資料写真、簡単な実験等が豊富に紹介されている。</li> <li>・「ふりかえろう」で学習内容を整理し、「たしかめよう」で基礎基本の定着、活用力の育成を図る構成になっている。</li> <li>・大判で写真が大きく、イラストや資料、文字の配置や表示に工夫がある。また、全学年同じキャラクターが登場するので親しみやすく、「見方・考え方」のヒントが示されている。</li> <li>・思考を深めるために、「考えよう」の部分に着目点や比較の視点が示されている。また、表現の仕方を学ぶために、巻末に「発表のしかた」「話し合いのしかた」が示されている。</li> <li>・単元末等には「こんなところにも!」として、日常生活や社会につながる資料が掲載されている。</li> </ul>
生 活	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な身近な人々と直接関わる児童の写真が多く掲載されている。</li> <li>・「かつどうべんりてちょう」には、活動に必要な様々な技能について具体的に示されている。</li> <li>・様々な見方・考え方を働かせるために、何について考えればよいのかを吹き出しに示している。</li> <li>・児童に関心を持たせるために、活動場面が見開きの写真や挿絵で表現されている。</li> <li>・児童の気付きを多様な方法で表現できるよう、発達に応じて掲載されている。</li> <li>・個々の気づきが相互に関連づく児童の姿について、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などが具体的に示されている。</li> </ul>
音 楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードの活用で個別最適な学びにつなげることができる。</li> <li>・どのページも見開きで構成されており、白を基調とした紙面のデザインが分かりやすい。</li> <li>・6年では多様な世界に触れることを目的にした鑑賞資料がある。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科との関連を図りながら中学校の音楽で学習する古典芸能の導入が紹介されている。</li> <li>・見開き2ページを使って著作権についての内容が掲載されている。</li> <li>・「ムーブの部屋」の活用で一人一人が何度でも鑑賞したり、音楽づくりをして自分で作った音楽を聴いて思考したりすることができる。</li> <li>・地域に関連した教材として、4年「壬生の花田植」5年「音戸の舟歌」が採用されている。</li> </ul>
図画工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次とともに1年間の活動内容が児童作品とともに掲載されている。見開き2ページには、活動に取り組む児童や児童のつぶやき、製作のプロセス、発想のヒント、つくり方の解説がイラストや写真で示されている。</li> <li>・見開き2ページで、準備・導入から展開、ふりかえりまで、学習の流れが見えるように構成されている。またタブレット端末から見られる映像やコンテンツが充実している。</li> <li>・使用する画材や用具、材料がイラストと文字で一か所にまとめて表されていることで、準備物が一目で分かるように工夫されている。</li> <li>・どの学年にも、題材の内容と関連深い美術作品を連続して掲載し、表現と鑑賞を往還しながら学習できる作りになっている。またどの鑑賞教材にも、紙面に書かれている鑑賞の視点とリンクした鑑賞シートがある。</li> </ul>
家庭	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの題材も「課題発見」「課題解決・実践」「評価・改善」の3ステップで、課題解決型の学習に取り組めるように構成されている。また、3ステップのそれぞれに「めあて」と「ふりかえり」が提示されており、課題意識をもって取り組み自己評価ができるように工夫されている。</li> <li>・ステップ1はデジタル思考ツールの「トライシート」、ステップ2は「動画コンテンツ」と「ずかん」、ステップ3は「深めようワークシート」等、各ステップに応じたQRコンテンツが充実している。</li> <li>・巻末に「いつも確かめよう」として、資料を掲載している。さらに、巻頭にも衛生面や安全面において気を付ける内容を掲載している。</li> <li>・日本の食文化や伝統文化、防災、地域の実践例を豊富に掲載している。また、「プロに聞く!」では、インタビュー内容を掲載しており、QRコンテンツにインタビュー動画もある。</li> </ul>
保健	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して何を学び、どのような力をつけるかを明確にするために、1単位時間4ページで編成され、単元末に関連資料がまとめられている。</li> <li>・写真やイラスト、グラフ等を大きく示しており、資料</li> </ul>

		<p>をもとに児童が課題を発見しやすくする作りになっている。また、学習の流れとゴールが分かりやすく図で示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5・6年教科書の巻末QRコードを読み込むと中学校での学習について見通しを持たせる工夫がある。</li> <li>・毎時間が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップで構成され、巻頭に学習の進め方やマークの説明が明示されており、各内容の導入時にも学習の流れが提示され、見通しを持って学習できるように編集されている。</li> </ul>
英語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元が、テーマに沿って関連付けて配列されている。単元最初で、単元目標と学習の流れが具体的に示されている。</li> <li>・学習の振り返りは、毎時間文章で記述する活動を設定している。また、各テーマ終了後の「Check Your Steps」において、学習を通してできるようになったこと等を記述し、発表したり交流したりする活動を年間3回設定している。</li> <li>・「Enjoy Communication」において、習得した知識及び技能を活用、まとめる「聞く・読む・話す・書く」活動を設定している。</li> <li>・デジタル教科書は、デジタルディクショナリー等がWeb上で活用できる。</li> </ul>
特別の教科 道徳	日本文教 出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳は「よりよく生きるため」にどうしたらいいのかを考える学習だという主旨が児童に伝わりやすい提示の仕方である。明確に主題にかかわる発問が設定されている。</li> <li>・問題解決的な学習方法を用いると効果的と考えられる教材には、各学年5～6箇所、教材の後に「ぐっと深める」のコーナーを挿入してあり、問題をつかむために様々な種類の体験的な活動を示したり、問題について考える活動を促す発問が示されたりしている。</li> <li>・現代的課題として、いじめ問題については、「人との関わり」として直接的教材、間接的教材、そしてコラム「心のベンチ」をユニット化したものを、毎学期取り組む形になっている。</li> <li>・別冊の道徳ノートがあり、毎時間自分の考え、友達から学んだこと、ふりかえり等を記入することができる。紙媒体とデジタルノートを選択できるようになっている。</li> </ul>